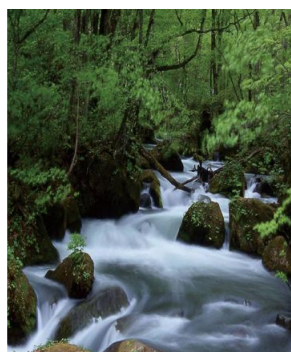


# 有限会社 清美環 環境活動レポート

2017 年度

(対象期間 2017 年 9 月～2017 年 11 月)



## 目 次

1. 組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 頁
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日・・・・・・・・ 2 頁
3. 環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 頁
4. 環境目標及び環境目標の実績・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 頁
5. 環境活動計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 頁
6. 環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組内容・・・・ 6 頁
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果  
並びに違反、訴訟等の有無・・・・・・・・ 7 頁
8. 代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・ 8 頁

2018 年 1 月 31 日制定

# 1. 組織の概要

- 1) 名称及び代表者名  
有限会社 清美環  
代表取締役社長 成川 英明
- 2) 所在地  
本社 神奈川県相模原市南区新磯野388番地1号  
東北営業所 福島県郡山市富田町字鍛冶田43-1-103  
釣り船部門 神奈川県三浦市宮川町17-108
- 3) 法人設立年月日  
平成4年12月8日
- 4) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 代表取締役 成川 英明 TEL: 042-765-4100  
担当者 専務取締役 増田 賢治 TEL: 042-765-4100

- 5) 事業活動内容  
下水道管・側溝清掃、排水管洗浄、ビルメンテナンス、ダイオキシン類除染  
産業廃棄物収集運搬施設洗浄、解体・設備工事、TVカメラ調査  
遊漁船

## 6) 事業の規模

	単位	28年	29年	30年	〇〇年
資本金	百万円	800			
売上高	億円	2.9			
主要工事件数	件	14			
従業員	名	18			
延べ床面積	m <sup>2</sup>	349			

- 7) 事業年度 6月～5月

## 8) 許可の内容

### ①産業廃棄物収集運搬業

神奈川県許可番号01402008469・平成25年9月21日・平成30年9月20日

収集運搬（積替・保管を除く。）汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、ガラスくず、コンクリートくず・陶器くず・がれき類

東京都許可番号13002008469・平成25年11月12日・平成30年11月11日

収集運搬（積替・保管を除く。）汚泥、廃油、廃プラスチック類

山梨県許可番号01900008469・平成25年2月5日・平成30年2月4日

収集運搬（積替・保管を除く。）汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、ガラスくず、コンクリートくず、陶器くず、がれき類

千葉県許可番号01200008469・平成25年3月26日・平成30年3月25日

収集運搬（積替・保管を除く。）汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、ガラスくず、コンクリートくず、陶器くず・がれき類

上記に対し取扱う産業廃棄物は、特別管理産業廃棄物であるものを除く。

埼玉県許可番号01101008469・平成29年11月26日・平成34年11月25日

収集運搬（積替・保管を除く。）汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、ガラスくず、コンクリートくず、陶器くず、がれき類

### ②建設業許可

許可番号 神奈川県知事 許可（般一26）第63616号

有効期間 平成27年1月13日～平成32年1月12日

### ③遊漁船業者登録票

許可番号 神奈川県知事 第2470号

有効期間 平成28年6月28日～平成33年6月28日

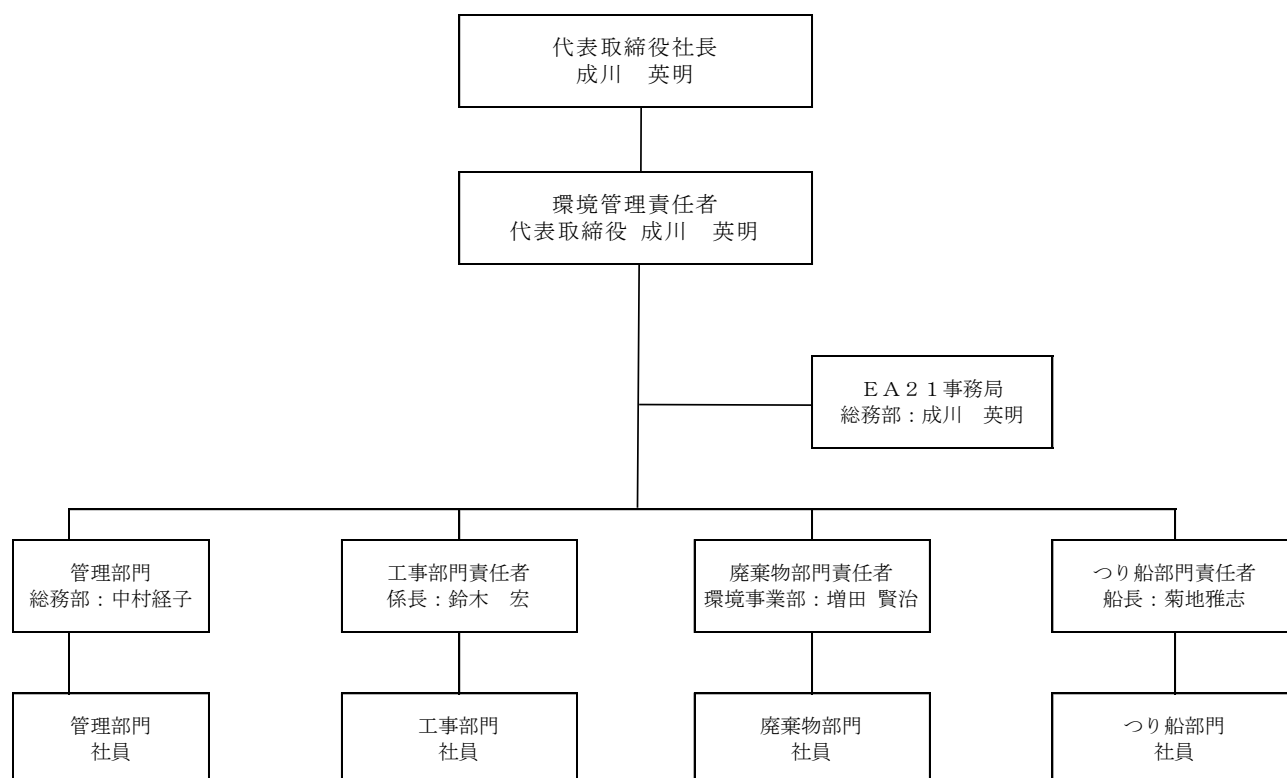
## 10) 収集運搬実績

汚泥 335 t（積替保管を除く）

11) 運搬車両保有台数

車両の種類	台数	車両の種類	台数
6t強力吸引車	1台	4tバキューム車	1台
4t強力吸引車	2台	3tトラッククレーン	1台
2t強力吸引車	1台	2tトラック	1台

12) 組織図



2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

- 1) 対象範囲 「1. 2) 所在地」に記載
- 2) 活動範囲 「1. 4) 事業活動内容」に記載
- 3) レポートの対象期間及び発行日 「表紙」に記載

### 3. 環境方針

## 環 境 方 針

#### 1. 基本理念

環境の改善は企業の社会的責任であることを深く認識し、建設業の事業活動を通じて、環境経営システムの継続的改善を図り、環境負荷の低減や環境負荷低減に貢献する活動を次により自主的・積極的に推進します。

#### 2. 行動指針

1) 以下の項目に環境目標を設定し、取り組みます。

- ①電力使用及び運搬車両・清掃車で使用する燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②分別の徹底と再使用・再資源化を推進し、産業廃棄物の削減及び一般廃棄物の削減
- ③日常的な節水による水使用量の削減
- ④事務用品や建設資材のグリーン購入・調達の推進
- ⑤無事故ゼロ件の推進

2) 環境に関して適用を受ける法的要求事項等を遵守します。

3) 全ての従業員の環境に関する意識を高め、全員で環境改善に取り組みます。

5) この環境方針を当社で働く全ての従業員に周知します。

2017年9月12日

**有限会社 清美環**

**代表取締役 成川 英明 (印)**

#### 4. 環境目標及び環境目標の実績

2017年度 2017年9月～11月（3ヶ月）

No	環境方針 (キーワード)	環境目標項目	基準値	基準値	CO2 換算係数	活動期間(2017年9月～11月)3ヶ月間			2017年度	2018年度	2019年度	
			(2016年度年間実績)	(2016年9月～11月実績)		目標	実績	評価	目標	目標	目標	
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力使用量	電力使用量	0.491	基準値3ヶ月に対し 2%削減	2,824	2,817	○	基準値に対し 2%削減	基準値に対し 3%削減	基準値に対し 4%削減
			12,770 kWh	2,882 kWh		kWh/3ヶ月以下	kWh/3ヶ月	12,515 kWh/年以下		12,387 kWh/年以下	12,259 kWh/年以下	
		運搬車両・重機等で使用する燃料消費量の削減	LPG消費量<Kg>	LPG消費量<Kg>	3.002	基準値3ヶ月に対し 2%削減	14.7	4.3	○	基準値に対し 2%削減	基準値に対し 3%削減	基準値に対し 4%削減
			166	15.0		Kg/3ヶ月以下	Kg/3ヶ月	163 Kg/年以下		161 Kg/年以下	160 Kg/年以下	
			ガソリン消費量<L>	ガソリン消費量<L>		2.322	7,632	2,855		○	25,097	24,841
		25,609	7,788	L/3ヶ月以下	L/3ヶ月	40,816	40,400	39,983				
軽油消費量<L>	軽油消費量<L>	2.624	10,265	17,067	×	40,816	40,400	39,983				
41,649	10,474	L/3ヶ月以下	L/3ヶ月	172,016		170,261	168,506					
計(kg-CO <sub>2</sub> )	175,527 kg-CO <sub>2</sub>	47,029 kg-CO <sub>2</sub>		46,088	52,814	×	172,016 kg-CO <sub>2</sub> /年以下	170,261 kg-CO <sub>2</sub> /年以下	168,506 kg-CO <sub>2</sub> /年以下			
2	廃棄物排出量の削減(一般廃棄物)	廃棄物排出量	廃棄物排出量		基準値3ヶ月に対し 3%削減			○	2016年度の 3%以上削減	2016年度の 4%以上削減	2016年度の 5%以上削減	
		データなし ℓ	データなし ℓ		データ取り ℓ/3ヶ月以下	1290.0 ℓ/3ヶ月						
3	廃棄物排出量の削減(産業廃棄物)	廃棄物排出量	廃棄物排出量		基準値3ヶ月に対し 3%削減			○	基準値に対し 3%削減	基準値に対し 4%削減	基準値に対し 5%削減	
		2.7 m <sup>3</sup>	0.0 m <sup>3</sup>		0 m <sup>3</sup> /3ヶ月以下	0.0 m <sup>3</sup> /3ヶ月			2.6 m <sup>3</sup> /年以下	2.6 m <sup>3</sup> /年以下	2.6 m <sup>3</sup> /年以下	
4	建設副産物リサイクル率向上 (産業廃棄物)	リサイクル率(現場)	リサイクル率(現場)		基準値3ヶ月に対し 0%向上			○	基準値に対し 1%向上	基準値に対し 1%向上	基準値に対し 1%向上	
		84 %/年	0 %/3ヶ月		0 %/3ヶ月以上	実績無し %/3ヶ月以上			84.8 %/年以上	84.8 %/年以上	84.8 %/年以上	
5	水使用量の削減 <水道使用量: m <sup>3</sup> >	水道使用量	水道使用量		基準値3ヶ月に対し 2%削減			○	基準値に対し 2%削減	基準値に対し 3%削減	基準値に対し 4%削減	
		1584 m <sup>3</sup>	512 m <sup>3</sup>		502 m <sup>3</sup> /3ヶ月以下	211.0 m <sup>3</sup> /3ヶ月			1552.3 m <sup>3</sup> /年以下	1536.5 m <sup>3</sup> /年以下	1520.6 m <sup>3</sup> /年以下	
6	グリーン購入の推進	事務用品のエコ商品購入品目	事務用品のエコ商品購入品目			エコ商品購入品目数 データ取り	エコ商品購入品目数 0点	○	エコ商品購入品目数 データ取り	エコ商品購入品目数	エコ商品購入品目数	
		データなし 点	データなし 点									
7	現場事に必ずKY実施	クレーム3件	クレーム0件			0件	0件	○	0件	0件	0件	
8	通勤時自宅⇄会社⇄現場間無事故	0件	0件			0件	0件	○	0件	0件	0件	

# 5. 環境活動計画

2017年度 2017年9月～11月

No	環境目標項目		基準値(2016年9月～11月)	目標値(2017年9月～11月)	CO <sub>2</sub> 換算	具体的活動内容	推進責任者	担当者	実績評価項目		9月	10月	11月	対象期間計
	1) 電力使用量の削減	2) 運搬車両・重機等で使用する燃料消費量の削減	CO <sub>2</sub> 排出量 <kWh以下>	CO <sub>2</sub> 排出量 <kg-CO <sub>2</sub> >					電力 kWh	自動車燃料	①～④表示	①～④開始	①～⑥準備、ルール化	
1	1) 電力使用量の削減		2,882 <kWh以下>	基準値の 2%削減 2,824 <kWh以下>	0.491	①不使用照明の消灯 ②OA機器をセーブモード設定 ③空調の適温化(冷房28、暖房20度) ④適正な電動工具使用	社長	環責	電力 kWh	活動予定	①～④表示	①～④開始		
	2) 運搬車両・重機等で使用する燃料消費量の削減		自動車燃料消費量 LPG <Kg/3ヶ月> 15 ガソリン <L/3ヶ月> 7,788 軽油 <L/3ヶ月> 10,474	基準値の 2%削減 LPG <Kg/3ヶ月> 14.7 ガソリン <L/3ヶ月> 7,632.2 軽油 <L/3ヶ月> 10,264.5					3.002 2.322 2.624	①エコドライブの励行 ②タイヤの空気圧を定期的に確認し適正値に保つ ③定期的車両整備を実施 ④不要な荷物を積載しない ⑤収集運搬車両の燃費向上 ⑥重機稼働状況の計測	社長	部門長	自動車燃料	活動予定
	計(kg-CO <sub>2</sub> )		CO <sub>2</sub> 排出量 47,029 <kg-CO <sub>2</sub> >	CO <sub>2</sub> 排出量 46,088 <kg-CO <sub>2</sub> >	〔二酸化炭素排出量の数値目標/実績〕		CO <sub>2</sub> 排出量 kg	進捗評価					○	○
										目標値	17,691	16,395	12,000	46,086
										実績値	22,562	16,344	13,909	52,814
										達成評価	×	×	×	×
										活動予定	①～④準備	①～④開始		
										進捗評価	○	○	○	○
										目標値	データ取り	データ取り	データ取り	0.0
										実績値	540	450	300	1,290
									達成評価	○	○	○	○	
2	廃棄物排出量の削減(一般廃棄物)		廃棄物総排出量 データなし	廃棄物排出量 データ取り		①廃棄物量の測定(排出毎) ②分別徹底、再使用・再利用の推進 ③IT化をすすめ、紙使用量の削減	社長	部門長	廃棄物排出量 t	活動予定	①～④準備	①～④開始		
3	廃棄物排出量の削減(産業廃棄物)		廃棄物総排出量 0.0 <t>	基準値の 0%削減 0.0 <t以下>		①廃棄物量の測定(排出毎) ②分別徹底、再使用・再利用の推進 ③現場加工の縮小	社長	部門長	廃棄物排出量 t	活動予定	①～④準備	①～④開始		
4	建設副産物リサイクル率の向上(産業廃棄物)		リサイクル率(現場) 0.0 <%>	基準値の 0%向上 0.0 <%以上>		①廃棄物量の測定(排出毎) ②分別徹底、再使用・再利用の推進 ③現場加工の縮小	社長	社長	リサイクル率(現場) %	活動予定	①～③表示・準備	①～③開始		
5	水使用量の削減		水道使用量 512 <m <sup>3</sup> >	基準値の 2%削減 502 <m <sup>3</sup> 以下>		①節水表示 ②節水こまの導入 ③手洗いや洗物、洗車時の節水(流し放しにしない)	社長	社長	水使用量 m <sup>3</sup>	活動予定	①、③表示・準備 ②節水駒の導入	①～③開始		
6	グリーン購入の推進		エコ製品購入 データなし <件>	エコ製品購入 データ取り <件>		①購入可能環境配慮商品の調査 ②購入環境配慮商品のリストアップ ③リストアップした対象商品を購入 ④再生材から作られた製品優先購入	社長	社長	グリーン購入	活動予定	①	②	③④	
7	現場事に必ずKY実施		データ無し	0件(クレーム)		①朝礼後作業エリア内で実施する ②作業内容、安全確認を全員に周知	社長	環責	情報提供	活動予定	①②実施			
8	通勤時自宅⇄会社⇄現場間無事故		0件	0件		①最後まで気持ちを整え締めるよう心がける ②法定速度を守るよう注意する ③無理な割り込みをしないように実施	社長	部門長	情報提供	活動予定	①②実施			

## 6. 環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組内容

2017年度 2017年9月～11月

No.	環境方針	環境目標項目	取組内容	取組	
				結果・評価	今後の取組
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①不使用照明の消灯	○	①不使用照明の消灯
			②OA機器をセーブモード設定	未使用場所の照明offや夜勤時車庫の照明をoffしました。	②OA機器をセーブモード設定
			③空調の適温化(冷房28、暖房20度)		③空調の適温化(冷房28、暖房20度)
			④適正な電動工具使用		④適正な電動工具使用
		運搬車両・重機等で使用する燃料消費量の削減	①エコドライブの励行	○	①エコドライブの励行
			②タイヤの空気圧を定期的に確認し適正値に保つ	丘の作業車両は アイドリングストップエコカー導入しました	②タイヤの空気圧を定期的に確認し適正値に保つ
			③定期的車両整備を実施		③定期的車両整備を実施
			④不要な荷物を積載しない		④不要な荷物を積載しない
⑤収集運搬車両の燃費向上	⑤収集運搬車両の燃費向上				
2	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量の削減 (一般廃棄物)	①廃棄物量の測定(排出毎)	○	①廃棄物量の測定(排出毎)
			②分別徹底、再使用・再利用の推進	一廃は事務所での分別をするようになった。	②分別徹底、再使用・再利用の推進
			③IT化をすすめ、紙使用量の削減		③IT化をすすめ、紙使用量の削減
		廃棄物排出量の削減 (産業廃棄物)	①廃棄物量の測定(排出毎)	○	①廃棄物量の測定(排出毎)
			②分別徹底、再使用・再利用の推進	産廃は混廃物の削減が急務である。	②分別徹底、再使用・再利用の推進
			③現場加工の縮小		③現場加工の縮小
		建設副産物リサイクル率向上	・分別品保管個所の徹底	無	・分別品保管個所の徹底
・繰り返し使用及び別途利用の推進	・繰り返し使用及び別途利用の推進				
・リサイクル工場との工程管理	・リサイクル工場との工程管理				
3	水使用量の削減 <水道使用量：m <sup>3</sup> >	①節水表示	○	①節水表示	
		②節水こまの導入	こまめに蛇口を閉めました。	②節水こまの導入	
		③手洗いや洗い物、洗車時の節水 (流し放しにしない)		③手洗いや洗い物、洗車時の節水 (流し放しにしない)	
4	グリーン購入の推進	①購入可能環境配慮商品の調査	リコーネットの詳細を確認しながら購入予定	①購入可能環境配慮商品の調査	
		②購入環境配慮商品のリストアップ		②購入環境配慮商品のリストアップ	
		③リストアップした対象商品を購入		③リストアップした対象商品を購入	
5	現場事に必ずKY実施	①朝礼後作業エリア内で実施する	○	①朝礼後作業エリア内で実施する	
		②作業内容、安全確認を全員に周知	全社員に周知しKYの徹底	②作業内容、安全確認を全員に周知	
6	通勤時自宅⇔会社 ⇔現場間無事故	①最後まで気持ちを敷き締めるよう心がける	○	①最後まで気持ちを敷き締めるよう心がける	
		②法定速度を守るよう注意する	毎日全社員に呼びかけをしました。	②法定速度を守るよう注意する	
		③無理な割り込みをしないように実施		③無理な割り込みをしないように実施	

## 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

### 並びに違反、訴訟等の有無

当社に係る環境関連法規等は下記の通りですが、下記のように遵守状況を2017年11月に確認した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありません。なお、外部からの苦情は活動期間中にはありませんでした。

### 環境関連法規等遵守状況

区分	環境関連法規等名称	遵守評価
		結果
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) 続き (産業廃棄物の適正処理)	○
	相模原市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等の推進に関する条例	○
資源循環 (リサイクル)	特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	○
	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律 (小型家電リサイクル法)	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	○
	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	○
騒音・振動	騒音規制法	○
	振動規制法	○
	神奈川県生活環境の保全等に関する条例	○
水質汚濁	浄化槽法	○
大気汚染	大気汚染防止法	○
	自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法 (自動車NO <sub>x</sub> ・PM法)	○
	特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律 (オフロード法)	○
	フロン排出抑制法	○



## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し実施日	2018年1月25日 ( <input type="checkbox"/> 定期見直し <input checked="" type="checkbox"/> 臨時見直し )			
見直し対象期間	2017年09月1日 ~2017年11月30日			
出席者	代表者、環境管理責任者			
前回の指示への取組結果	今回は最初の代表者による全体の評価と見直しにつき、前回の指示事項は無し			
見直しに必要な情報	①現場事故を未然に防ぐ為に必ずKYを実施する事 ②無駄を無くし物を粗末にせず廃棄物の削減に努める事 ③社内ですべて必要以上に電気をONにしない(ONにしたらずOFF)			
代表者による評価 経営的観点	【環境経営システムが有効に機能しているか】(①、②、③等を踏まえて評価) 社員一人一人が各自の役割を理解して取組を行い、目標達成に向けて活動した。法規制の順守状況には問題なく、是正の必要な問題や外部からの苦情も発生していません。環境経営システムは現在のところ有効に機能している。			
	【環境への取組が適切に実施されているか】			
	目標項目	目標達成状況	活動計画実施状況	目標・活動計画実施状況の評価(達成の場合:目標設定方法や取組方法の問題点、次年度の方向性 未達の場合:原因の明確化、次年度の目標や対応策)
	CO2排出量の削減	×	○	前年度は釣り船がガソリンエンジンであった今年2月に釣り船をディーゼル船にした結果達成できなかった。
	廃棄物排出量の削減(一般廃棄物)	○	○	事務所での分別をするようになった
	廃棄物排出量の削減(産業廃棄物)	○	○	産廃は混廃棄物の削減が急務である。
	建設副産物リサイクル率向上	○	○	下請けの為無し
	水使用量の削減	○	○	教育や節水の掲示等を行い、節水に努めて目標を達成した。
	グリーン購入の推進(本年度はデータ取り)	—	○	今後グリーンマークの表示製品を買うように周知した(今回は購入が無かった。)
	現場時に必ずKY実施	○	○	全社員に周知しKYの徹底
通勤時自宅⇄会社⇄現場間無事故	○	○	毎日全社員に呼びかけをした。	
代表者による見直し 変更の必要性の有無・変更に必要な具体的指示事項	【環境方針】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 環境改善への活動を企業全体で取り組み、意識の向上を高める			
	【環境目標及び環境活動計画】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 アイドリングストップ・過積載・法定速度厳守・現場事に必ずKY実施・通勤時自宅⇄会社⇄現場間無事故			
	【環境経営システム等】 変更の必要性 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	【総括】 環境方針、環境目標を定め、従業員全員が環境目標のどれかの推進責任者になり、全員で取り組んできました。社員一人一人の取組意識は高いように思われます。成果が一時的なもので終わらないよう、さらなる意識の向上と実践を継続していきたい。			

注) ①定期的(少なくとも毎年1回)に実施すること。登録審査の場合は、臨時に行うこと。

②事業年度が終了したら、速やかに終了事業年度(登録審査の場合は登録の運用期間)の見直しをすること。

③事業内容の変更や重大な事故・不適合が生じた場合等の時は、臨時の見直し会議をすること。

以上